

会議録要旨

(1) 会議の名称	第3回 越前市中心市街地活性化基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成27年8月19日(水曜日) 午後7時～午後9時
(3) 開催場所	越前市生涯学習センター 市民ホール2階 第3会議室
(4) 出席委員氏名	野嶋委員長、西藤委員、黒田委員、山口委員、村田委員、藤谷委員、清水委員、小形委員、坂口委員、梅田委員、能勢委員、石井委員、河端委員、寶田委員、田中委員
(5) 欠席委員氏名	金田副委員長、内藤委員、長田委員
(6) 出席オブザーバー氏名	福井県 商業振興・金融課 桑原主任、野澤主査 都市計画課 深水主任 丹南土木事務所道路課 久野課長
(7) 出席所管課職員職氏名	建設部 今村部長、鎌谷理事、三田村政策幹 都市計画課 平野課長、江端主幹、石本主査 まちづくり・交通対策課 川崎副課長 産業政策課 小泉課長 商業・観光振興課 西野課長
(8) 会議議題	報告事項 (1) 第2回策定委員会の結果について (2) 第2回ワークショップの結果について 協議事項 (1) 中心市街地活性化の基本方針と戦略 (2) 中心市街地の区域設定 (3) 中心市街地活性化の目標 (4) 中心市街地活性化基本計画の骨子案 (5) 主要プロジェクト図 (6) 5ヵ年(短期)で取り組む主な事業 (7) 次期計画掲載予定事業 (8) シンボルロードイメージパース
(9) 傍聴者の数	2人
(10) 会議資料の名称	資料1 第2回策定委員会会議録 資料2 第2回ワークショップまとめ 資料3 第3回策定委員会資料 資料4 次期計画掲載予定事業 資料5 シンボルロードイメージパース
(11) 会議の内容の要旨	<p>■委員からの主な意見 (目標、骨子に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価指標①において、新庁舎及び福祉健康センターの市民交流施設の利用者数を目標にしているが、新庁舎の完成は平成32年度であることから、今回改定計画期間中に事業効果を把握できるのかを再確認して欲しい。 ・事業内容と事業分類が合わないものもあるので再考すべきである。 ・シンボルロードのイメージパースは、商工会議所が市に越前市のグランドデザインを提案したときの1案である。本策定委員会で何らかの提案を行いたい。 ・計画書は事業の列挙で終わってしまうので、事業のイメージが伝わるようイメージパース等があると分かりやすい。 ・数多くある事業のプロデュースや戦略をどうするか、また、事業をどう組み合わせしていくのかが見えるようになると良い。

(各取組みに関して)

- ・まちなかでの起業について、サービス業や飲食店は比較的継続するが物販は厳しい。開業支援事業のほか、家賃補助が切れたあとも継続できるような支援策、営業指導等があると良い。
- ・寺社おこし事業が、「経済活力の向上」に分類されているが、違和感がある。
- ・お寺を単に商売や観光資源と見るのではなく、歴史や文化、住職や人の魅力を伝えていくことを考えている。まちづくり会社では「てらたび」等の新しい視点のイベントを企画している。
- ・寺社で文化的な催しを行うと非常に映える。寺社空間を活用し、プロデュースするという発想は良い。
- ・北府駅鉄道ミュージアムは全国の鉄道マニアにアピールするとともに、大型バスを停められる駐車場、屋根付きの休憩所、ミニ公園等を整備してはどうか。
- ・日野川は全国的に非常に高い評価を受けており、駅東の見直しに伴い注目されていく場所でもある。もう少し日野川を活用した事業を考えて欲しい。リバービジネスは将来性があり、今のうちから根付かせていくことが重要である。
- ・中心市街地の近くに川が流れているのは非常に珍しい。リバービジネスを中心市街地活性化に繋げるという考え方、中心市街地と中山間地との関係性という視点は非常に重要である。
- ・駅東や日野川との関係で言えば、JR武生駅の跨線橋をエレベーターで上り下りできるようになると良い。
- ・日常的に面白い遊びができる場所がもっとあると、まちなかで楽しい生活ができると思う。例えば河川緑地にドッグランを設置することで、犬を遊ばせながらお年寄りもそれを眺めてくつろぐ公園的なスペースになる。
- ・河溜線の整備に伴い住宅等の移転が発生するが、移転先はなるべく中心市街地内になるよう努めて欲しい。
- ・定住促進のための支援制度は充実してきているが、金銭的な支援だけでなく、まちなか居住は魅力的な住まい方であることを伝える必要がある。例えば古民家を改修して、そこに外国人が住んでいるという事例を発信するなど、住まい方の事例を紹介していく必要がある。
- ・古民家は古いからダメということではなくて骨董的価値があるので、それをどのように伝えていくかということが重要である。
- ・中心市街地の活性化はやはり定住化が重要だと思う。学生が多いとまちなかに活気が出てくるので、大学や学校との連携にも力を入れていただきたい。
- ・越前市には外国人が多く、とまどいを持つ人も一定数存在する。市の方で国際交流や指導を行って欲しい。
- ・今後、国籍・人種の多様化は避けることができない。英語の看板設置や統一したサインを整備するなど、次の50年に引き継ぐまちづくりを考えるべきである。
- ・空き家対策をはじめとする様々な支援メニューがあるが、集中的に補助金を投入する居住のモデルとなる場所をつくるべきである。
- ・古い街並みは良い面もあれば悪い面もある。特に狭隘道路では除雪の問題を抱えている。生活者の視点に立ち、マイナスをせめてゼロにするという事業も必要である。
- ・商業地域に住宅地が出来ているなど、都市計画上の用途設定と現状に乖離が見られる。
- ・街並みや商店街、観光という面で、越前大野は非常に参考になると思う。商売人は何かして欲しいではなく、自分たち自身が努力することも必要である。
- ・越前市全体の観光の中で中心市街地における位置付け、あり方を明確にして欲しい。

(11) その他

特になし